

筆のさんぽ道



農作貧乏とい
う言葉をよく
耳にする。昨

年は野菜等も
本当に安かつた。
た。家畜のエサにやむなく廻した
ものづくめ。しかし和泉村に住
む私達にとっては、これ等の価格
の安い事は、あまり生活に直接か
かわりがないので感ずる所も少な
かつた。

しかし今年はマユの価格が例年
に比べて安く、夏蚕、秋蚕の二割
制限を実行するまでに至つたので



視野が必要になって来た。おこた
る事なく学びたい。蚕が悪い、マ
ユが安いと云つて、小言ばかり云

つて嘆いている様ではない。
マユが安ければ、今までより一そ
う努力して、マユの生産費を切り
下げるべく手を打つ事だ。要はマ
ユの価格が高い事を望むという考
え方から、マユの価格から生産費
を差引いた差格の多い事を望むと
いう考え方方に變るべきだ。よく考
えて見れば、まだまだコストは引

ある人は云われた、現在の日本
人は実に合つて話しても弱々

の様に、どこか一步力強い所がな
る。この何くそ、これ

精神である。この何くそ、これ
が村を起じ国を建てるのである。

日本人一人一人がこの「何くそ」精
神を自分の中にする事だと。

我々も今一度考えて見よう。

○

ある。マユは和泉村の畑作の中では
最も換金作物として重要な位置に
ある事は誰しも認める所であると
思う。現在の私達の生活は昔と違
う、国際情勢が直接に日常生活に
多くするかが問題なのである。

ある人は云われた、現在の日本
人は実に合つて話しても弱々

の様に、どこか一步力強い所がな
る。この何くそ、これ

精神である。この何くそ、これ
が村を起じ国を建てるのである。

絶壁に頬つけて呑む清水かな

文明の変りゆく世や天の川

亡き父の露台に浮ぶ天の川

猪俣 信也

ドリル支ふ掌に大鎧ぬひたる

星まつる米ソの衛星並へて書き

轟生れつぐ牧舎に注ぐ主婦等の舌

福沢 龍峰

端葱坊主曲りて育ち活けらるる

大雨にどつと流れし水喧嘩

伴俊孝

看病に婚期おくれし夏帽子

水祭り 八月中旬 於朝日、大

谷

松橋紀代二

星まつる米ソの衛星並へて書き

玻璃乾く夜を徹して破碎音

中出 芳乃

福井県内における遭難事故をあ
おり、それだけに山の遭難事故も

年とともに増加しています。

福井県内における遭難事故